

令和6年度事業所における
放課後等デイサービス自己評価表

公表：令和7年2月25日

事業所名 じゃんぷ

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		学習スペースと遊びのスペースを分けながら、全体で活動する場合は、テーブルを撤去しながらスペースの確保に努めています。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		利用定員に対して配置基準以上の人員を配置していますが、学校への迎え時間などが重複している場合は時間調整などを行っていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			簡易的なスロープなどを設置するなど、可能な限りバリアフリー出来るように努めています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			会議の中で改善点や振り返りの機会を設け、業務改善に努めております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			日常的に保護者の皆様と話す機会を設け、職員間での情報共有等に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	今後ホームページに開示する予定です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価は受けておりませんが、法人第三者委員の方に定期的に助言を頂く機会を設けております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的な研修、外部の研修などを活用しながら職員の質の向上に努めております。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者や状況に応じて利用児との面談を行い、アセスメントから個別支援計画を作成しております。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	標準化されたアセスメントツールはありませんが、医療機関の発達検査結果などを参考にさせていただいています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			行事や活動内容について、担当となった職員を中心に、内容検討を進めながら実施しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節に合わせた創作活動や行事などを取り入れながら実施しています。社会参加にも取り組んでいます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		利用状況に応じて細かな設定ができるように努めています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動と集団活動を組み合わせながら取り組んでいます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に、当日の活動内容や職員が担当する内容について打ち合わせを行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後や翌朝等に、児童の様子や、家族からの伝達事項等を共有しながら確認しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎朝・その都度、職員間でミーティングを実施し、確認している。なお、個別対応の検討とともに記録をしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			日々支援をしながら、児童の様子を話し合い、見直しができるようにしています。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	○		一人一人の特性を考慮し、分かりやすく、 楽しく参加できるよう、活動を組み合わせな がら活動を行っています。
関係機 関や保 護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議 にその子どもの状況に精通した最もふさわしい 者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が主に参画 しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交 換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送 迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に 行っているか		○	下校時間に児童の様子を伺い、情報の共 有に努めています。 学校の行事や下校時間の調整等について は、家族を通して行うことが多いです。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている か		○	対象となる児童の受け入れは行っておりま せんが、情報共有、知識等の習得に努めて いきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こ ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共 有と相互理解に努めているか		○	就学前に利用していた関係機関の情報に ついては、相談支援事業所を通して情報共 有及び相互理解に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所か ら障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、 それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか		○	対象となる児童はおりませんが、必要とな る場合は、情報提供ができるようにしていき ます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セン ター等の専門機関と連携し、助言や研修を受け ているか		○	専門機関との連携する機会がありませんで した。 場合によってはそういった機会が持てるよう にしていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の ない子どもと活動する機会があるか		○	放課後児童クラブや児童館と活動できる機 会があれば実施していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加して いるか	○		「しらかわ自立支援協議会 教育・こども支 援部会」「障がい児通所支援事業所連絡 会」に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子 どもの発達の状況や課題について共通理解を 持っているか	○		連絡帳や送迎の際に、状況を報告したり、 家族から相談ができるように対応していま す。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者 に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っ ているか		○	事業所独自ではなく、地域で研修会の案内 などがあった場合、情報提供をさせていただ いています。
保護者 への説 明責任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について 丁寧な説明を行っているか	○		契約をする際に、重要事項説明書、契約書 に基づいて説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		送迎に来た際や、連絡帳を通して、家族か ら相談があった場合は、相談を受ける時間 を設けながら対応をしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開 催する等により、保護者同士の連携を支援して いるか		○	保護者会は設置しておりません。 今後、家族同士が交流できる機会(行事な ど)があれば設けていきたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体 制を整備するとともに、子どもや保護者に周知 し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応し ているか	○		職員間での共有、法人第三者委員を通 して検討できる体制を整えております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対 して発信しているか	○		定期的に広報を配布し、児童の活動の様 子などを発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		キャビネットに保管し施錠して管理してい ます。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしているか	○		個々の状態に合わせてながら、伝達方法は 工夫しながら対応しています。

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域の方を招待する行事は行っておりませんが、今後、実施する際は、開かれた事業運営に努めます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	各マニュアルについて、保護者への細かな説明等ができるように努めています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月、様々な災害等を想定し訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止に向け、自己検証する機会を設けるなどしています。研修できる機会を設けられるように努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	身体拘束について対象となる児童はおりませんが、必要であると判断された場合は、保護者の方へ十分に説明・同意を頂いて対応していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーの有無について、確認をして対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリ・ハット報告書を作成し、報告事例について職員間での共有、改善に努めています。